

# 小諸に 元気と誇り をとりのもどす

## 所信表明

小諸市長 小泉俊博



市長就任後、初の市議会となる平成28年第3回6月市議会定例会において、小泉市長が所信表明を行いました。その概要を紹介します。

### ■市政経営の基本姿勢

私は、市長選挙におきまして繰り返し「小諸に元気と誇りをとりもどす」と訴えてきました。その根底にありますのは、近年元気と誇りを失いつつあること、さらに追い打ちをかけるように急激な人口減少と超高齢社会に突入しようとする中、まちの活力がさらに失われてしまうとの危機感があるからであります。

しかしながら、幸いにして先人達が遺してくれた素晴らしい歴史や文化、豊かな自然などがある小諸であること、また市民一人ひとりの持つ力を高め、結集することができれば、必ずや小諸市は、再び「元気と誇りをとりもどすことができる」と確信しております。

そこで、市政経営にあたっての三つの基本姿勢について申し上げます。

1つ目は民間出身の市長として「民間の発想と着眼点で市政を創り、行動する」こと、即ち送り手である「官」から

受け手である市民主体の「民」の発想と着眼点で、戦略的かつ効率的な市政運営を進めていくことです。

2つ目に「地域の課題解決に市民と共に協働する」姿勢で取り組むこと、即ち身近な課題に市民の皆様と一緒に取り組み、地域の力の向上に努めると共に、頑張っている人や団体、企業を応援する小諸市を創り、まち全体に元気をとりのもどすことです。

3つ目に「政財産学官、中央との太いパイプや先人達が遺してくれた元々小諸市が有している様々な財産を市政経営の戦略に活かしていく」と、即ち私自身の経験やネットワーク、市が有している様々な財産を活かして小諸市の力に変えていくことです。

### ■市政経営の基本政策

次に市政経営の五つの基本政策について申し上げます。

#### ▼市役所改革と健全財政

##### 「しせいを正す」

市役所の改革と健全財政につきましましては、選挙期間中、市民の皆様によく訴えてきた事項であり、全ての政策の根幹をなすものと位置付けています。

市役所は文字通り「市民の

役に立つ所」であること、「市民の皆様に対する市内で一番のサービス業」であるべきであること。それを職員が再認識し、有する能力を最大限発揮できるように環境づくりが必要と考えております。

その第1歩としまして、5月17日付の人事異動で適材適所を心がけ、これまでの慣習を撤廃し、職員のやる気と能力を活かせるようにするとともに、女性職員の管理職への登用を視野に入れた人事を行ったところであります。

また、行政改革も大きな課題であります。「小諸版カイゼン方式」を導入し、作業の効率化をテーマに今後各職場で行ってまいります。

次に健全財政について申し上げます。立て続けに行われた大型公共工事がひと段落したものの、社会資本整備や老朽化した市内小学校の建替えなど、公共施設の更新等を間近に控えている中で、健全財政は重要課題と捉えております。

一方、今後の人口減少による税収減は避けられない状況にあります。市民の皆様からお預かりした税金は、佐久広域連携を強化することにより財政負担の軽減を図り、大切に使用させていただきたいと存